基本のお手入れ

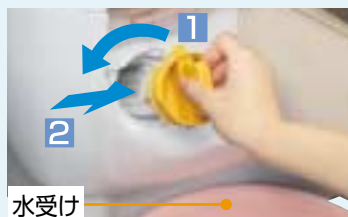
糸くずフィルター

➔P.68、69

「糸くずフィルター」ランプ点灯時に

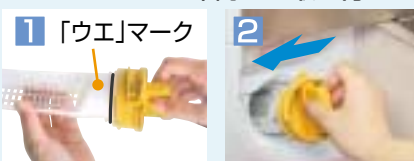
準備 糸くずフィルターを外す前には脱水運転を行い、排水されたことを確認する

1. 糸くずフィルターカバーを開ける

2. つまみをゆっくり左に約1回転回し、糸くずフィルターを手前に引きながら外す

残水が出る場合があるので、水受けなどで受けてください。

3. 糸くずフィルターを水洗いする

ゴムパッキンはこすらずに、糸くずなどの異物だけを取り除いてください。ゴムパッキンについたグリースを拭き取ってしまうと、糸くずフィルターが回しにくくなります。

4. ゴムパッキンがきちんと取り付けられていて、糸くずなどが付いていないことを確認し、取り付ける

「ウエ」マークを上にする。

奥まで差し込む。

5. つまみを右に「カチッ」と音がするまでしっかり回し、糸くずフィルターカバーを閉じる

⚠注意

- ドラムに水が入っている場合は、糸くずフィルターを外すと多量の水が出ます。
- 運転中は糸くずフィルター、乾燥フィルターを外さないでください。

バックフィルターのお手入れ

➔P.73

- 付属のスイコミノズルでお手入れしてください。

バックフィルター

糸くずが取れにくい場合は、よく絞った濡れぞうきんなどで拭いてください。拭いたあとは、よく乾かしてから運転してください。(手袋などをして行ってください。)

濡れぞうきん

- 乾燥フィルターは消耗品です。破損したときは販売店でお買い求めください。➔P.88

乾燥フィルター

➔P.72

乾燥するごとに、または「乾燥フィルター」ランプ点滅時に

1. 乾燥フィルターを手前に引き出して取り外す

2. ネットを裏返しにしてお手入れする

掃除機でネットに付着した糸くずなどを取り除きます。

- 水洗いすることもできます。(よく乾かしてから本体に取り付けてください。)

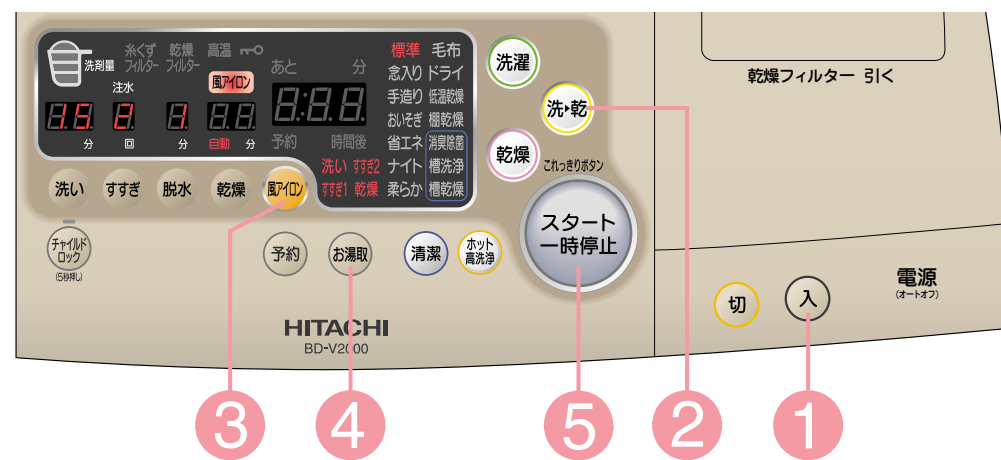
3. ネットを元どおり内側に入れ、下図のようにネットの端をフックの下に入れる

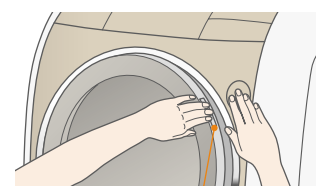
4. バックフィルターなどに、糸くずが付着していないことを確認し、元通りしっかりと取り付ける

日立電気洗濯乾燥機 ビッグドラム BD-V2000/V2000R

カンタンご使用ガイド

詳しくは「取扱説明書」をご覧ください。
➔P.○○ このマークは「取扱説明書」の記載ページです。

洗濯～乾燥運転(風アイロン動作、お湯取時)を例に操作方法をご紹介します。

準備 水道の水栓を開ける。お湯取ホースをセットする ➔P.32

1. 「ドア開」ボタンを押して、ドアを開けて、洗濯物を入れてドアを閉め、(入)を押す
   ドアに手をはさまないように注意!!
   🔑が消灯していても、ドアが開かない場合は、「ドア開」ボタンを押しながら、ボタン近くのドア周囲(へこみ部分)を手前に引いて開けてください。

へこみ部

2. (洗・乾)を押し、「標準」のランプを点灯させる

3. (風アイロン)を押し、「風アイロン」のランプを点灯させる ➔P.24

4. (お湯取)を押し、「お湯取」したい行程(洗い・すすぎ・乾燥)のランプを点灯させる ➔P.34

5. (スタート一時停止)を押す
   メロディが鳴ったあと、洗濯物の量を計測するために、約30秒～2分間ドラムを回転し、洗剤量(目安)を表示します。

6. 洗剤量(目安)表示に従って、1分以内に洗剤などを入れる ➔P.26～29

- すぐに給水したいときは、「洗▶乾」ボタンを押してください。

運転終了の約5～10分前に終了予告音が鳴り、その後メロディが鳴ったら終了です。

ふんわりガード運転をしたいときは ➔P.65

汚れ落ちをよくするには

(ホット高洗浄)を押し、ボタンを点灯させる ➔P.64

運転中(🔑点灯時)にドアを開けたいとき

➔P.30、31

(スタート一時停止)を押す

▼

ドアロックが解除されます。

- 洗濯運転中に開けられるのは、運転開始から約2～5分間と、脱水中のみです。
- 乾燥運転時(ドラム内部が熱いとき)は3～15分の冷却運転後にドアロックが解除されます。
- ふんわりガード運転時は、(スタート一時停止)を押すとすぐにドアロックが解除されます。

上手なお洗濯・乾燥 のポイント

洗濯、乾燥の前に洗濯物の絵表示を確認してください。

静かに運転するには・・・

●洗濯物は一枚ずつ広げ、一方に片寄らないように入れてください。 →P.19

●脱水立ち上がり具合の調整をして、「0」（低振動）に設定してください。→P.66

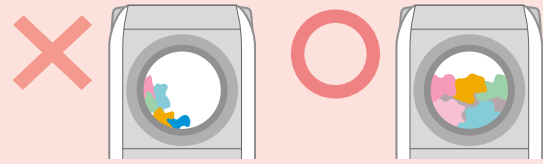
●運転時間が長くなります。

●据付説明書に従い正しく据え付けてください。

●本体がガタついていると、振動の原因になります。 →据付説明書

●静かに乾燥運転したいときは「風アイロン」の設定を解除してください。

●更に、おやすみ中など静かに乾燥運転したいときは、「ナイト」コースを使いましょう。

●「ナイト」コースの場合は、運転時間が長くなります。 →P.39、41

スムーズに脱水するには・・・

ドラム式洗濯機は、洗濯物のバランスがとれない場合には脱水の途中で、布ほぐし動作を行うため、運転時間が長くなったり、運転を途中で止めてしまうことがあります。

●**大物の洗濯物**（シーツやバスタオルなど）**や厚手の衣類**（ジーンズや柔道着、剣道着など）**、少量の洗濯物、洗濯ネットに入れた洗濯物、マット類はほかの洗濯物と一緒に洗いましょう。** →P.18

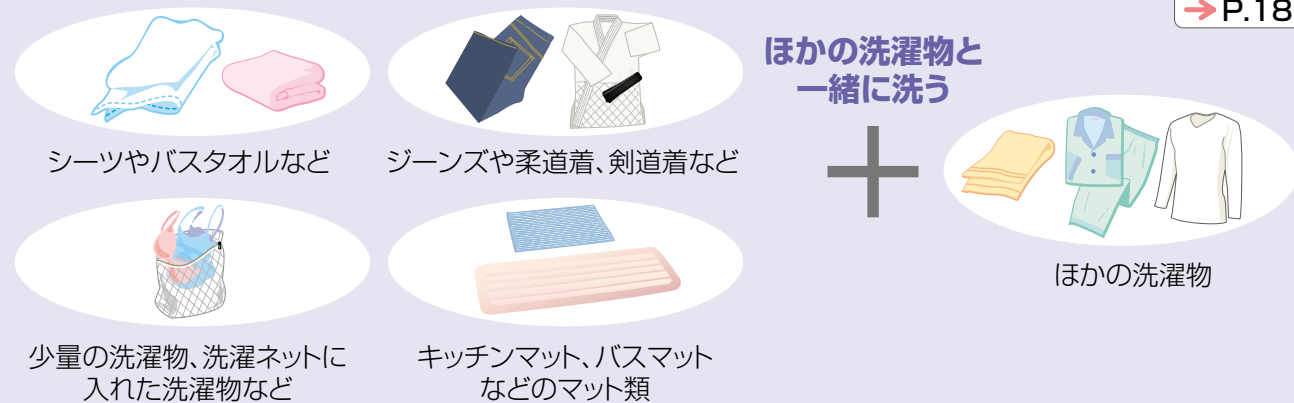
シーツやバスタオルなど

ジーンズや柔道着、剣道着など

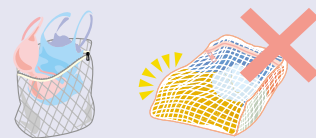
少量の洗濯物、洗濯ネットに入れた洗濯物など

キッチンマット、バスマットなどのマット類

ほかの洗濯物と一緒に洗う

ほかの洗濯物

●**洗濯ネットは、デリケートな洗濯物**（ランジェリー、ブラジャー、ストッキングなど）**や小物**（くつ下、ハンカチなど）**だけに使用しましょう。** →P.20、21

●詰め込み過ぎると、スムーズに脱水できない場合があります。

●脱水立ち上がり具合の調整をして、「2」（スムーズ）に設定してください。 →P.66

■「お湯取」について

●ドラム式は節水タイプのため、洗いだけにお湯取機能をご利用の場合は、風呂水の使用量も少なくなります。（洗いだけの場合は約20L）

●洗濯物の量が少ないとき（2kg以下）など、風呂水を使用しない場合があります。

タオルなどのゴワゴワ感が気になったら・・・

ドラム式洗濯機は、少ない水で洗うため、タオルなどはパイルが寝てゴワゴワすることがあります。

●「柔らか」コースを使いましょう。 →P.39

●脱水運転中に温風を洗濯物に吹き付けゴワツキを抑えます。（運転時間が長くなります。）

●ソフト仕上剤を使用しましょう。 →P.27

●洗▶乾の「標準」コースで運転しましょう。 →P.38

●洗濯物が乾いたあとにゴワゴワが気になる場合は、追加で乾燥の「標準」コースを運転しましょう。 →P.40

シワ・縮みが気になる洗濯物は・・・

洗濯物によっては、従来の乾燥機と同様、シワがついたり、縮むことがあります。

シワが気になるものは

シワになりやすい洗濯物

シーツなどの大物　綿シャツなど

ブラウスなど

ジーンズなど硬く厚い衣類

パジャマ・Tシャツなど

●「風アイロン」機能を使いましょう。 →P.24

●高速の温風で、シワを抑えます。

●脱水後、タイマー運転で30分乾燥運転後、吊り干しをしましょう。→P.40

●生乾きで取り出して、吊り干しをするときれいに仕上がります。

●2kg以下の量で乾燥しましょう。

●脱水シワをのばしてから乾燥しましょう。

●薄手の洗濯物は、厚手の洗濯物と分けて乾燥しましょう。

縮みが気になるものは

熱に弱い洗濯物

化繊のくつ下・ランジェリーなど

●「低温乾燥コース」を使いましょう。 →P.39、41

ドライマーク付き洗濯物

ウールのセーター・スカートなど

●「棚乾燥」コースを使いましょう。 →P.52、53

乾燥ムラが気になったら・・・

洗濯物の種類や量によっては、乾き具合にムラがでることがあります。

●乾き具合調整機能を使い、乾き具合を「強め」にしましょう。 →P.67

●4kg以下の量で乾燥しましょう。

●分けて乾燥しましょう。

●綿と化繊、厚手と薄手など、それぞれ分けると乾燥ムラが少なくなります。

洗濯物が多いときは、くつ下やハンカチなどの小物類は、市販の洗濯ネットに入れて運転してください。

●運転中にドアパッキン付近に集まり、洗濯や乾燥が十分にできないことがあります。